

理研会報

発行
印教研理科研究部
事務局
成田市立成田中学校
成田市土屋928-1

生きる理科教育を求めて

印教研理科研究部部长 三里塚小学校長 高橋 正昭

今年度から、新学習指導要領による指導が始まりました。理科教育も、大きな改訂を余儀なくされ新たな指導の工夫が求められていたとき、確かなにおいが浮かび上ります。特に、限られた時間や内容の中で、将来に向けて必要な力を身につけさせるか、一人一人の教師の指導によるところが大きくなっています。また、アンケート調査等によると、学年が進行するにつれて、他の教科と比較して理科が好きでないという子が多くなる傾向にあるというので、いかに理科好きな子を育てていくか、理科の指導が問われると思います。

ところで、ある学校の家庭教育学級の便りの中に、父親の文が載っていました。内容を簡単に紹介しますと、テレビゲームのない時代に、一升瓶の蓋を使った遊びや空き缶一つを使ったかくれんぼをしたそうです。また、地面に線を引いて石ころ一つをアイテムにして遊ぶ遊びや、山の中でつるを使つてターザンごっこをしながら、自分たちで工夫し、遊びをバージョンアップしていった等書いてありました。その文の結びに、「少

子化が進んでいく今日、同じようなことを望めないが、我が子が成長してから子どもの頃を振り返ったとき、確かなにおいが浮かび上るような今を過ごして欲しい」と書いてありました。

自然離れ、経験不足が進んでいる中、理科を担当する教師に課せられた大きな課題であると思えます。いかに、子どもたちの実態を踏まえ、子どもたちが学びたいと思える指導、有実感を感じる指導を工夫していくことが一層求められていると思います。そして、子どもたちが大人になったとき、理科指導の「確かなにおい」をなつかしく感じてもらえるそんな指導が大切であると思っています。

その為にも、今年度もこれまで理科研究部の活動の充実と、次代の理科教育を担う若い力を育てるよう、微力ではありますが先生方の支援を参りたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。



平成十四年度事業計画

- ・四月十九日(金)
役員会(成田小)
- ・五月十日(水)
印教研 理科研究部総会(成田小)
- ・六月二十六日(水)
役員会 研究員集会(成田小)
- ・夏休み中
理科実技研修会 現場研修会(各部会単位で実施)
- ・八月二十九日(木)
印教研集会(敬愛短大)
- ・九月二十五日(水)
郡理科作品展(成田小)
- ・審査二十五日
公開展示二十六、二十七日
- ・二月二十一日(金)
役員会(成田小)
- ・理研会報の発行
二百九十五号

平成十四年度 理科研究部 役員一覧

- ◎理科研究部部长 高橋 正昭(三里塚小)
- ◎理科研究部副部长 森 茂雄(四街道小)
- ◎理科研究部副部长 小林 茂(八街南中)
- ◎各部会理科研究部部长
一部会 宮入芳雄(白井西中)
二部会 片岡勝美(中郷小)
三部会 片岡 実(小林中)
四部会 村居 幸(八街南中)
五部会 角井 一郎(四街道北中)

平成十四年度 印教研理科研究部 研究テーマ

《研究主題》

子どもたちが興味を持ち、主体的に参加する理科学習はどのようにすればよいか。

《主題設定の理由》

身のまわりには、まだまだ豊富な自然があり、自然現象にあふれている。生活の中にも子どもたちの科学的興味をそそる事物現象はたくさんある。素朴な疑問、興味・関心から科学の芽が生まれ、課題解決の学習を通して科学の心が育つ。中学理科の目標は、自然に対する関心を高め、目的意識を持って観察実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てること、自然の事物・現象について理解を深め科学的な見方や考え方を養うことにある。

子どもたちに科学的興味を持たせること、目的意識を持って課題を自力解決させること、解決の喜びを味わわせることが基礎・基本の定着、科学の方法の習得につながり、さらに生きる力となる。このことを念頭に、教材の開発・配列、指導法、指導場面等の研究を深めていきたい。

◎理事

- 一部会
吉井猛彦(佐倉小)
玉井 仁(根郷中)
小山 治(井野小)
木川 香(下志津小)
加藤弘明(上志津中)
齊藤政勝(下志津小)
森本敏彦(根郷小)
大野尊史(寺崎小)
杉山栄一(佐倉東中)
松橋和彦(白井西中)
梅里之朗(大室台小)
宮入芳雄(白井西中)
- 二部会
高橋正昭(三里塚小)
佐藤久司(根本名小)
古谷 薫(安食台小)
江村 司(加良部小)
飯田隆雄(根本名小)
片岡勝美(中郷小)
林田孝二(富里中)
- 三部会
久本邦夫(平賀小)
石田政光(滝野小)
佐藤光廣(永治小)
阿波寄守(草深小)
河邊久男(南山小)
伊藤久男(木刈小)
佐久間保男(高花小)
松田治久(七次台中)
鈴木 宏(原山中)
佐々木猛(木刈中)
片岡 実(小林中)
- 四部会
京相光徳(実住小)
深山民夫(朝陽小)
小林茂(八街南中)
大坊孝志(八街南中)
村居 幸(八街南中)
- 五部会
荒木昭夫(四街道小)
間宮哲人(吉岡小)
森 茂雄(四街道小)
角井 一郎(四街道北中)
清水龍彦(四街道北中)
岸 廣(四街道西中)

編集後記

理研会報第二九五号をお届けいたします。次号は「理科実技研修会について」掲載いたします。

(印教研理科研究部事務局)